

第4回県立高等学校の校名に関する検討委員会 概要

【日時等】平成28年7月13日（水）18:30～19:20 高知共済会館3階「桜」

【出席者】検討委員会委員（7名全員出席）

西郷会長、時久副会長、池委員、池田委員、稲田委員、川北委員、西尾委員
教育委員会：田村教育長、藤中次長、北村次長、永野次長

高等学校課（高岸課長、坂本企画監、高野補佐、松井チーフ他4名）

【傍聴者】47名

【報道】3社（高知新聞、高知さんさんテレビ、テレビ高知）

会議の概要

○統合対象校4校の訪問について⇒概要を事務局説明後、委員全員が感想等を述べる

・訪問してそれぞれの学校の特色がよくわかって良かった。統合に関しては、相手校を取り入れようとお互いが前向き。

新しい統合校は、県民の期待の持てる良い学校になる、1+1が、3から4になると感じた。

・両方の良さを取り入れるだけでなく、高知県にない学校が出来ようとしているのが手に取るように見えた。

・中高一貫の中だるみ対策を考えているのは良い。IBを導入していくには、今後、一緒になることで、どうレベルアップするかお互いしっかりつかんで話し合っていることに感動した。

・統合までの7年間をどういう進め方でステップしていくのか、課題をもってしっかり見つめる目線が大事。

・どの学校も元気で活発。子供たちが充実して学べるものにできるよう、検討委員会の使命の重さを感じた。

・自分たちの仕事は、統合校4校の生徒、その後輩たちのためにやるんだと再認識した。明るい元気な未来に希望が持てるようにしたい。

・各学校の教職員が熱心。校長が統合に真摯に向かっている。今の熱い思いを続けてもらえれば、素晴らしい学校ができる。

・卒業生、PTAがいろいろな寄付をして、貢献している。是非、その熱い思いを7年間、統合後の学校の発展のために、ご尽力いただきたい。

・今後、学校の施設整備や改修等の予算が伴うので、事務局には最大限努力してもらいたい。

○公募を実施する場合の具体的な方法について⇒以下を確認し、了承。

1名の応募数⇒1人1案のみ。

対象範囲、国籍、年齢⇒制限なし。

応募方法⇒応募用紙を定め、ダウンロード可とする。電子メール、郵送、FAX、高等学校課に持参のいずれか、また、「これ以外は対象外」「個人情報の取扱」を明記。

応募用紙への記載内容⇒校名、読み方、由来・理由を記載。

応募者の属性⇒名前、年齢、住所は必須。性別、電話番号は記載しない。

募集期間⇒30日。

募集の周知方法⇒ホームページ、さんSUN高知（県内版、県外版）、「公募ガイド」のウェブ版、マスコミへの情報提供、紙媒体の設置（県出先機関5か所、県民室、高等学校課の計7か所）

公募結果の公表⇒ホームページ掲載、マスコミへ情報提供。

公募結果の数の取扱⇒「校名候補の選定においては、応募多数の名称が選ばれるとは限らない」と明記。

校名案の取扱⇒「応募いただいた校名を参考にして検討委員会が校名候補（複数の場合を含む）を決定」「検討委員会で決定した校名候補を県教育委員会に報告」「県教育委員会で校名を決定」と記載。

意見を聴く際の参考資料⇒統合後の新しい姿、学校像、学校パンフレット。

実施機関⇒高知県立学校の校名に関する検討委員会。

提出先⇒高等学校課。

○**今後のスケジュールについて**（事務局から説明し、了承）

- ・次回、文書で確認してもらうために、第5回検討委員会の開催を7月下旬から8月上旬で日程調整する。
- ・次回は、「募集要項」「公募スケジュール」などを検討、決定。

○**質疑**

- ・さんSUN高知の掲載は、何月号に、どのような範囲まで載せるのか？
→次回会議で決定後であれば8月号には間に合わないので9月号を予定。掲載内容は、募集要項、教育内容等を半分から3分の2ページで掲載することを考えている。
- ・応募用紙の代わりに、さんSUN高知を切り取って応募する形はとれないか？
→担当部署とも検討して、次回の会議で説明する。
- ・新しい学校ができるということを小学校、中学校に知ってもらうために、通知してもらえないか。
→次回までに検討する。
- ・文字が多いと読んでもらえないので、広告等は、簡潔に中味が分かるように整理し、詳しくは、ホームページでとするのがよい。
→次回までに検討する。